

令和5年度大規模津波防災総合訓練の 開催報告

- 地震による大規模津波の被害軽減を目指すとともに、津波に対する知識の普及・啓発を図るため、「津波防災の日」「世界津波の日」にあわせ、総取扱貨物量日本一の「名古屋港」で開催しました。
- 南海トラフ地震による津波襲来を想定した、国、地方公共団体、公共機関、企業、地域住民が連携して実施し、訓練の状況はYouTube配信により会場で観覧できない方にも視聴いただきました。
- 行政・民間企業等による防災に関する企画展示を「あいち防災フェスタ」と同時開催しました。

◆開催日時	令和5年11月11日(土) 9:00～11:00 (展示エリア 10:00～16:00)
◆開催場所	名古屋市港区(名古屋港ガーデンふ頭)
◆実施訓練	情報収集・伝達訓練、避難訓練、救命・救出訓練、道路・航路啓開訓練、緊急排水訓練、物資等海上輸送訓練、ライフライン復旧訓練等
◆主催	国土交通省、愛知県、名古屋市、名古屋港管理組合
◆共催	南海トラフ地震対策中部圏戦略会議
◆参加機関	訓練数:50訓練、訓練実施:67機関、展示エリア:9機関 あいち防災フェスタ:37機関(※重複除く)
◆訓練参加者数	石橋国交大臣政務官、大村知事、河村市長 はじめ1,300名(来賓等含む)
◆国会議員	長坂康正国交委員長(衆)、神田憲次議員(衆)、本村伸子議員(衆)、酒井庸行議員(参)、浜口誠議員(参)

総合啓開計画検討(R5大規模津波防災総合訓練)

【訓練に関するポイント】

- 訓練の準備を通じた、**関係機関との連携**を再確認するとともに、「南海トラフ地震対策中部圏戦略会議」において、より実効性が高まるよう進めた。
- 関連する行動訓練を複数機関一体となって一緒に実施させることにより、計画段階から機関同士の連携を高めることに努めた。



開会式整列



石橋国交大臣政務官ご挨拶



福和名誉教授・平山准教授
大石アナによる解説



石橋国交大臣政務官への訓練説明



石橋国交大臣政務官への囲み取材



佐藤局長による閉会ご挨拶

総合啓開計画検討(R5大規模津波防災総合訓練)



津波避難ビル誘導・受入訓練



舟艇による救助・搬送訓練
(名古屋市消防局・愛知県警)



ヘリによる漂流者救助・搬送訓練
(海上保安庁)



航路啓開訓練
(中部地整TEC-FORCE)



油防除訓練
(九州地整TEC-FORCE)



緊急物資輸送訓練
(陸上自衛隊等)



排水活動訓練
(中部地整TEC-FORCE)



炊事車による炊き出し訓練
(航空自衛隊)



路面段差解消訓練
(中部地整TEC-FORCE等)

【展示に関するポイント】

- 日常的に市民が利用しているエリアにおいて、行政・民間企業等による防災に関する企画展示を行った。
- 愛知県主催の「あいち防災フェスタ」と同時開催することにより、普及・啓発への相乗効果を高めた。



(一社)港湾空港技術コンサルタント



(一社)日本橋梁建設協会



(独)UR都市機構



(一社)中部地質調査業協会
愛知県地質調査業協会



(一社)愛知県LPガス協会
((一社)日本エルピーガス
供給機器工業会)



東邦ガス(株)

総合啓開計画検討(R5大規模津波防災総合訓練)



中部電力パワーグリッド(株)



(一社)中部地域づくり協会



ソフトバンク(株)



KDDI(株)



(株)NTTドコモ東海支社



(一社)日本補償コンサルタント
復興支援協会



(公社)全国土木コンクリート
ブロック協会
中部地区連絡協議会



(一社)日本建設機械施工協会
((株)ダイワテック)
水洗トイレ付ソーラシステムハウス



国土交通省国土地理院
中部地方測量部



国土交通省中部運輸局



第四管区海上保安本部



総務省東海総合通信局
災害対策用移動電源車